（別紙４（２））

事業所名　グループホーム　アベーテ

作成日：　平成　25　年　　3　月　　29　日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域住民と交流する機会を増やしたい。	地域住民と交流する機会を増やす。	利用者や地元の職員･広報誌等から地域の行事の情報を集め、できるだけ利用者の希望にそった外出計画を作る。　施設の広報誌を地域住民に配り、施設の行事に地域住民をまねく。	12ヶ月
2	35	緊急時の対策を強化してゆきたい。	災害時や利用者の急変時の対策を強化してゆく。	勉強会で災害時･急変時のマニュアルを確認する。定期的に消防署や近隣住民と協力して防災訓練や救命講習を行う。	12ヶ月
3	33	ターミナルケアについての勉強がまだ不十分である。	ターミナルケアについての理解を深めてゆく。	外部講師を招いて学習する。自分の施設で対応できる事･できない事を確認しながら、これから必要な技術･設備についても話し合ってゆく。	12ヶ月
4	4	定例会議の議事録が作成されず、会議の結果が職員に周知されない時があった。	定例会議の結果を職員に周知させ、事業所運営に活かしてゆく。	必ず議事録を作成して、職員がそれを回覧できるようにする。回覧した職員から意見を聴いて、事業所運営に活かしてゆく。	1ヶ月
5	48	もっと入居者一人一人に張り合いや喜びのある日々を過ごしてもらいたい。	もっと張り合いや喜びのある日々を過ごす。	入居者一人ひとりの能力に応じた役割を与える。また入居者一人ひとりの能力に応じたレクリェーションを行う。	1ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。